

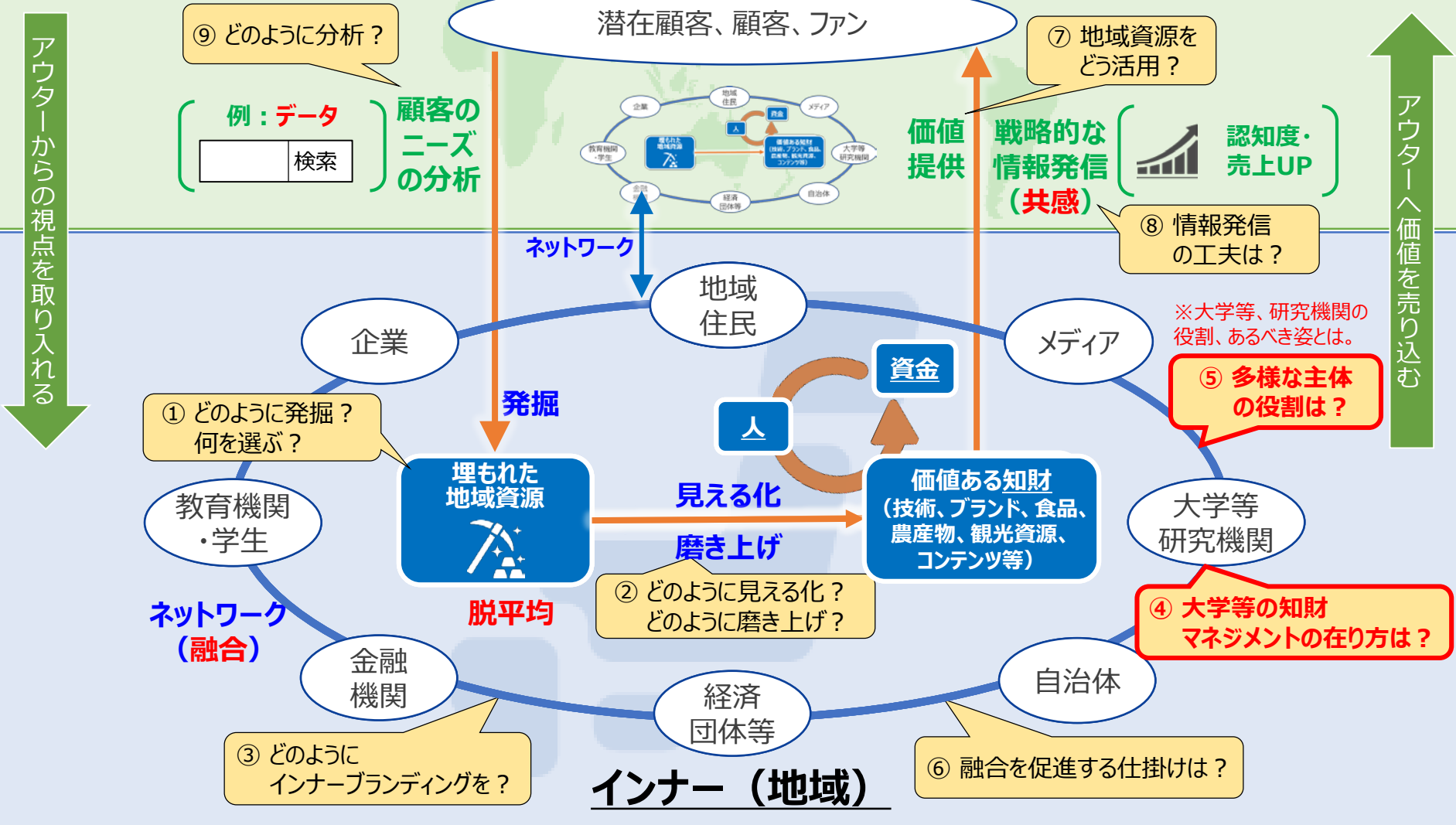
第3回 地域価値WG

事務局説明資料

2020年3月17日

内閣府 知的財産戦略推進事務局

アウター (海外・他地域)



地域知財エコシステムにおけるベストプラクティスを取りまとめる。
また、地域知財エコシステムの活性化に向けた、政府の取組を提言。

- ① 埋もれた地域資源としてどのように**発掘**し、**何を選ぶ**か。
- ② 地域資源を、どのように**見える化**や**磨き上げ**を行うか。
- ③ どのように地域内での**インナーブランディング**を進めるか。
- ④ 地域の知の拠点である**大学等の知財マネジメント**に課題はないか。
- ⑤ 地域の各主体に求められる**役割**は何か。
大学等、研究機関の役割、あるべき姿は何か。
- ⑥ 地域における複数の**主体の融合**をどのように促進するか。
- ⑦ **アウター**に対してどのように地域資源を活用するか。
- ⑧ **アウター**に対してどのように情報発信を行うか。
- ⑨ **アウター（顧客）ニーズ**をどのように把握し、活用するか。

議題 1

議題2 今までの論点整理

<資料6>

- 報告書のとりまとめに向けて、論点を整理したもので、構成・章立てを意識しています。
- 各章節に、冒頭に□で困った骨子と、とりまとめに向けた参考情報を列記しています。

1. はじめに

- (1)本ワーキンググループの目的
- (2)報告書を読んで頂きたい地域の主体

2. 地域知財エコシステムを作ろう(アクションプラン)

- (1)地域知財エコシステムとは
- (2)地域知財エコシステムの理想像(論点とベストプラクティス)
- (3)地域知財エコシステムを実現するための、
地域の各主体のアクションプランの作り方

3. 私はこう実現しました(実例から学ぶ)

- (1)地域資源
 - ①埋もれた地域資源としてどのように発掘し、何を選ぶか
 - ②地域資源を、どのように見える化や磨き上げを行うか
- (2)インナーブランディング
 - ③どのように地域内でのインナーブランディングを進めるか
- (3)大学
 - ④地域の知の拠点である大学の知財マネジメントに課題はないか
- (4)地域の各主体の役割および融合
 - ⑤地域の各主体に求められる役割は何か
 - ⑥地域における複数の主体の融合をどのように促進するか
- (5)アウター視点の取り込みおよびアウターへの売り込み
 - ⑦アウターに対してどのように地域資源を活用するか
 - ⑧アウターに対してどのように情報発信を行うか
 - ⑨アウター(顧客)ニーズをどのように把握し、活用するか

4. おわりに

- (1)今後
- (2)地域の各主体へ向けたメッセージ